

アナリスト業務において 大切にしているもの — 健全な出会いの場を作る —

株式会社いちよし経済研究所 企業調査部 首席研究員
納 博 司



私はアナリスト業務に従事してから27年になるが、2001年以降はインターネット関連セクターを担当している。いちよし経済研究所では伝統的に中小型成長企業の調査を活動の中心に置いており、将来の優良株を少しでも多く発掘することを目指している。

今回、このような立ち位置にいる自分なりのアナリスト業務観を書かせていただくが、内容がかなり偏ったものになってしまう点はお許しいただきたい。

アナリスト調査対象企業について、現状では経常利益が10億円未満であっても、数年後には数十億円の経常利益が期待できると考えられればフォローを開始する。中には経常利益10億円程度だった会社が経常利益100億円超にまで成長し、時価総額も100億円程度から1,000億円超になる場合がある。その結果、日々の売買代金についても数十億円規模になると、自分の企業分析が間違っていないかと思われ、この仕事の醍醐味を感じ、嬉しくなることもある。

当然のことながら、期待した通りにならない場合もある。また、予想とは全く違う展開となり、多くの方々の期待を裏切ることもある。今でも日々反省することばかりであるが、そのときには、可能な限り情報を集める努力をしたのか、徹底的に分析し考えるということを怠らなかつ